# Lifeを深める保育講座 2 「保育とウェルビーイング」

保育は、子どもたちの幸せのかたち(ウェルビーイング)を実現しようとする営みです。そして、ウェルビーイングとは、自分だけが良ければそれでよいというものではなく、友達や先生、ときには人間以外の生物とのつながりをつくりながら、生きる喜びを実感できる生活をつくることなのではないかと思います。複雑さを増す現代社会のなかで、子どもの生を多様なLifeとの関係として捉えなおすことで、生き生きした保育の手がかりを得ていきたいと思います。

今回は、人間とテクノロジー、生命の関係について独創的な思索と表現活動を展開するドミニク・チェン氏と、「子どもん中の子どもになって生きたい園をつくろう!」を合言葉に遊びが躍動する保育を実践する宇治福祉園の杉本一久氏をゲストに迎え、保育のLifeとウェルビーイングの関係を議論していきます。

# 杉本一久 × ドミニク・チェン × 山本一成







撮影:萩原楽太郎

2022年10月15日 (土)

19:00-20:30 オンライン(Zoomミーティング)



## Lifeを深める保育講座とは

急激な変化を迎えた現代社会のなかで、Life (生活・人生・生命)を軸に未来の保育の在り方を考えていく連続講座です。サステナビリティ、ウェルビーイング、想像力、アートなど、多角的なテーマでゲストを招き、保育を「研究/探究」します。

第1回 「持続可能な暮らし」ゲスト:遠藤綾氏(軽井沢風越学園) ※終了

第2回 「ウェルビーイング」

ゲスト:ドミニク・チェン氏(早稲田大学)

杉本一久氏(宇治福祉園) 10/15

第3回 「生きているものどうしの想像力」

ゲスト:西澤彩木氏(せた森のようちえん) 11/5

# 【ゲストプロフィール】

ドミニク・チェン

1981年生まれ。博士(学際情報学)。NTT InterCommunication Center[ICC]研究員,株式会社ディヴィデュアル共同創業者を経て、現在は早稲田大学文化構想学部教授。テクノロジーと人間、自然存在の関係性、デジタル・ウェルビーイングを研究している。著書に『コモンズとしての日本近代文学』(イースト・プレス)『未来をつくる言葉一わかりあえなさをつなぐために』(新潮社)など多数。監訳書に『ウェルビーイングの設計論一人がよりよく生きるための情報技術』、監修書に『わたしたちのウェルビーイングをつくりあうために一その思想、実践、技術』(共にBNN新社)など。

#### 杉本一久

1959年生まれ、社福)宇治福祉園 理事長・幼保連携型認定こども園みんなのき 三室戸こども園園長、社会福祉学修士、保育士、幼稚園教諭。(一社)京都府保育協会・(社福)京都府社会福祉協議会理事、(公社)全国私立保育連盟保育子育て総合研究機構研究企画委員など公職多数。長年、保育における第三者評価事業、保育士養成に深く携わる。また、宇治市民間保育連盟の歌「父さん母さんへ」をはじめ保育実践を通じて子どもの歌・子育て応援ソングなどを多数作曲。その他、保育のICTシステムのアドバイザー、保育図書への寄稿を行う。

## 【申し込み方法】

右記のQRコードもしくは下記のURLから申込フォーム にてご登録ください。お申込みの方のメールアドレス にzoomのURLをお送りいたします。

https://forms.gle/zVA61ScYyk5dP6iFA

締切:10月13日(木)(定員あり/先着順)

※登録された情報は本企画の運営のみに利用します。 ※当日のミーティングは、記録のため録画させていた だきますのでご了承ください。



<お問合せ先> 滋賀大学教育学部 幼児教育講座 山本一成 issei-y@edu.shiga-u.ac.jp